

(参考様式4-1)

平戸地区活性化計画 改善計画書

平成27年9月10日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
長崎県	平戸市	平戸地区	H24～H26	H24
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
特用林産物生産施設	特用林産物生産施設6棟 A=1409.4 m ²		平戸市森林組合	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域物産の販売量の増加	20.70%	8.74%	42.3%	

2 目標が達成されなかった要因

(コメント)

平成25年度に種菌の不良により、ホダ木(菌床)の腐れが発生し、計画どおりの収量があがらなかったことが、目標が達成されなかった大きな要因となっている。また、一部の生産団地における空調施設の老朽化の改修等に時間を要し、適正な温度管理に支障を来たしたことも目標を達成できなかった要因となっている。

3 目標達成に向けた方策

目標達成予定年度	29年度
事業の推進体制	平戸市・平戸市森林組合・各しいたけ生産団地の連携により推進
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none">平戸市森林組合ホダ木生産センターにおいて、種菌メーカーからの技術指導や、各生産団地から栽培過程でのホダ木の状況等の聞き取りを密に行い、高品質なホダ木(菌床)を安定的に出荷できるよう努める。しいたけ栽培については、平戸市森林組合しいたけ生産部が経験・技術において、リーダー的存在となっており、毎月、生産者会議を開催している。

	<p>この生産者会議において、現行の菌にあった栽培方法等についての情報共有および指導を行う。また、菌床しいたけ栽培において重要なハウスの温度管理が徹底されているかのチェック及び栽培の技術指導に各団地に積極的に出向き、収量増に向けた取組を行う。</p> <p>・現在、市と森林組合が連携し推進している「ひらどロマン」のブランド力強化と販路拡大の取組を継続していく。また、生産者会議に市も年2回程度出席し、生産状況の把握及び生産の安定化に向けた新技術の導入等について連携を図っていく。</p>
--	--

4 改善計画に対する第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>平成 26 年度からは種菌の変更等の対応により生産量は増加している。今後も菌床ブロックの配合検討による低コスト化や、栽培技術管理での単位収量増加を図ることで、目標の達成が見込まれる。</p> <p>(長崎県森林組合連合会 業務第一課長 小川 透)</p>
--

※達成率等算出根拠資料(参考様式4-1添付資料)を添付すること。